



中西 庸介 議員
(新政会)



一般質問

■和倉温泉における復旧・復興状況について

和倉の復活なくして能登の復興はない！

質 能登半島地震において、和倉温泉の護岸は甚大な被害を受けており、海沿いに立つ旅館、ホテルの再建の足かせになっていく。一刻も早い復旧が待たれるが、現状と今後の復旧に向けてのスケジュールを伺う。

答 和倉温泉の護岸復旧については、和倉温泉護岸復旧会議で護岸復旧の方針が取りまとめられた。七尾市管理護岸については、国の代行で災害復旧することとなり、年内の現地着手に向けて工事受注者と協議中であると聞いている。

民有護岸については、各旅館が七尾市に護岸を寄附して、七尾市所有護岸とすることで国の補助事業を受けて護岸の整備工事を行うこととしている。現在、国に事業の採択を要求している状況である。復旧工事の完了時期は、国の工事着手後、約2年程度を目標しているとしている。

また、和倉港湾区域外の民有護岸については、七尾市と同様な手続により、石川県所有護岸とした上で護岸の整備工事を行うこととなり、今年度中にまず背後に旅館のある区間など約700メートルの護岸工事に着手すると聞いている。



原田 一則 議員
(灘会)



一般質問

■仮設住宅の課題について

入居者が安心できる環境整備を！

質 今年の降雪量は平年並みか平年より多い見込みの予報であるが、仮設住宅の敷地内における除雪対策について伺う。

また、仮設住宅の入居者の安心・安全のためにも防犯灯の設置が急務であると思うが、対応を伺う。

答 仮設住宅敷地内の除雪については、道路除雪業務委託者と委託契約を行っている。また、被災した高齢者や障害者などが被災地の仕事を請け負う能登復興推進隊にも除雪の依頼を行っている。除雪の実施方法については、道路除雪の日と同日に、基本的に共用部分の舗装については道路除雪業者が実施し、そのほかの場所については能登復興推進隊が除雪することになる。

また、防犯灯の設置については、入居者の生活環境確保の観点からも、外灯の設置は必要であると考えている。

石川県が9月に、仮設住宅が設置されている市町を対象に外灯設置の追加要望調査を行っており、本市としても設置の要望を行っている。今月から、要望のあった小島町第一団地、万行第一、第二団地の駐車場から石川県が工事を進めることになっている。今後は、県の策定した外灯の設置基準に合うところにも順次設置していく予定である。